



11月17日

「東京営業統括センター輸送本部移転に伴う体制の見直しについて」

提案を受ける！

東京地本は首都圏本部より「東京営業統括センター輸送本部移転に伴う体制の見直しについて」提案を受けました。

●業務委託箇所の変更（実施日：2023年2月4日）

- 京葉地下改札のJESSへの業務委託を解消し、八重洲南口改札をJESSに業務委託。
- 2徹1日勤の体制に変更はない。京葉ホームでの常駐がなくなることにより、**本体社員が近くにいる何かあったときに対応できるようにするため委託箇所を変更する。**
- これまでの議論は否定しない。本体社員が近傍にいることと、**新幹線乗換・八重洲北と同じエリアを対応したいというJESSの考えが一致。**
- 八重洲南は特殊な業務は特にないが、高速バスの案内が多い。京葉地下は遠隔操作がある。業務内容の変更については、**京葉地下ではホーム常駐廃止により京葉ホームへの初動が必要となる。**

●現輸送本部機能を内勤地下の新輸送本部へ移転（実施日：2023年3月1日）

- **現行7・8番線屋根上の輸送本部を東京地区指跡に移転し、信号機能を集約することで、より効率的で生産性の高い業務執行体制を構築する。**
- 内勤地下に移設することで、内勤も近くなり、情報共有や安全性向上につながる。

●京葉ホーム事務室内信号機器類を内勤地下の新輸送本部へ移転することに伴う

輸送体制の見直し（実施日：2023年3月28日）

- **京葉ホームでの常駐を廃止することで、要員は▲2となる。**
- 業務内容が付加されるが、改札の体制は変わらない。また、京葉ホーム配置の副長は廃止せず、改札が駆けつけた後の対応をできるようにする。常駐はしない。**今後作業ダイヤ作成となるが、対応できる体制とするよう、首都圏本部から伝えていく。**

さらに、教育体制を中心に議論を行う！

組合	どのように教育を行っていくのか。
会社	まずは遠隔操作の教育を実施。12月以降からJRとJESSで相互に見習いを始めたい。その後、ホームでの取り扱いなどの教育を行う。
組合	ホームでの教育は特にしっかりとおこなうべきだ！
会社	改札社員がこれまでホームの対応に行くことはなかった。今回を契機に教育を実施していく。
組合	バックヤードが汚いと報告を受けている！
会社	必要な設備の整備は行っていく。

— 異常時に的確に対応できる体制がなければ、安全・安定輸送の実現は不可能だ！ —

関係する仲間と議論し、安全で働きやすい職場をめざしていきます！